



福岡県議会議員 (筑紫野市選出)

はら たけ いわ み

原竹岩海

見える県政! 第49号

県政報告

はら たけ いわ み (筑紫野市選出 4期)

県議会議員原竹岩海幹事長就任!

この度、原竹岩海県議は福岡県議会 会派民進党・県政クラブ県議団（議員数22名）の幹事長に就任し、吉村敏男会長の補佐をするとともに会派の取りまとめや人事・運営等に汗を流しています。風通しのいい会派の環境づくり、県政発展のため情報収集、分析能力の向上を目指して日夜奮闘いたしております。



昨年は福岡県において、九州北部豪雨災害が発生し、県の戦後最大の自然災害であるとの事であります。被害額は、2000億円と推定され、県・県議会では昨年の9月議会と12月議会において補正予算として合計1,009億円を計上し、被災地の一日も早い復旧・復興を目指して努力致しております。

福岡県議会 12月議会一般会計補正額 366億1700万円

九州北部豪雨災害の復旧・復興対策費として、9月議会・12月議会の合計1,009億円

県議会12月定例会が、12月1日から20日までの日程で開催されました。

昨年7月の九州北部豪雨災害による被災地の復旧・復興対策費多く含んだ今年度一般会計補正予算総額約366億1,700万円などの議案が可決し成立いたしました。

小川知事は、会議の冒頭で本年8月以降、県職員による公務員として信じがたい不祥事が相次いでいることについて「県民の皆様には深くお詫びする。今後は、職員倫理の確立を図り、県民に信頼される県政の推進に全力を尽くす。」と挨拶がありました。

補正予算の主な内容としては、九州北部豪雨災害関連予算として、道路や河川等が今後の豪雨にも対応できる工事費、改良復旧工事費として260億円、また、土石流やがけ崩れが発生した箇所などに、新たに砂防ダムを設置するための費用として105億円。被災地に広く消費を呼び込み、商工業者の経済的な早期回復を図る事を目的に、商工会議所・商工会が行う地域商品券のプレミアム率を高くし、発行規模を拡大した「復興支援プレミアム付き地域商品券」発行の助成金として6,134万円を計上しています。

平成29年12月議会代表質問

代表質問は、12月議会開会の2か月前から会派（民進党・県政クラブ県議団 議員数 22名）の10回の政策審議を経て、12月7日に野田稔子議員（八女市八女郡）が行いました。今回の代表質問に反映させるために、11月13日に北九州を視察し、本県市町村で唯一公立小・中・特別支援学校の全てに教員の勤務時間を把握するシステムの導入状況を見聞し、また、給食費の公会計化について芦屋町から説明を受けました。

今回の代表質問は、県政推進の基本姿勢として、①九州北部豪雨災害の復旧・復興対策、②本県所管の私立学校を設置する学校法人の財務情報等の一般公開、③本県の産業廃棄物行政、保健医療介護問題では、学童期むし歯予防推進事業のあり方を、福祉労働問題では、生活困窮者への支援の拡充を、教育問題では、①学校における働き方改革の推進、②県教育委員会と学習支援センターとの協定締結等を知事並びに教育長に質しました。

このうち、主な質疑として、九州北部豪雨で大きな被害を受けたJR日田英彦山線の復旧について、知事は「復旧は運行当事者のJR九州が第一義的に担う。まずは、自社努力による復旧方針を示すべき」とした上で、災害復旧事業によってJR九州の負担が軽減する可能性についても言及しました。また、今回の豪雨を受け、防災重点ため池について、「洪水吐（ばき）の規模・構造を考慮した上で、防災重点ため池の選定について見直すことが必要」との考えを示しました。教育問題では、教員の長時間勤務の是正を質したところ、教育長は、教職員の働き方の指針を今年度中に策定し、来年度から実施する方針を明らかにしました。その一環として、全県立学校に勤務時間を管理するシステム（ICカード・タイムカード等）を来年度中に導入するとしました。

議会最終日には33本の議案と、意見書としてわが会派が提出した「地方財政の充実・強化を求める意見書」等4本が採択され閉会しました。※詳細は原竹岩海HPをご参照下さい。

「第37回全国豊かな海づくり大会」福岡大会 盛大に開催される!

昨年10月28日、29日の二日間、水産資源の保護と海の環境の大切さを学ぶと共に漁業の振興促進を図ることを目的に、今回は宗像市を主会場として、「第37回全国豊かな海づくり大会」が盛大に開催されました。

天皇・皇后両陛下におかれましては、前日から来福され、九州北部豪雨災害の被災地をご訪問され、暖かなご激励のお言葉をかけられました。大会におきましても両陛下にご臨席を賜り、盛会裏に開催されました。三方を海に面した福岡県にとって海は古来より生活の一部であり、これからも大切な宝として守り保護していくことが強く求められています。



稚魚等のお手渡し <https://yutakanaumi-fukuoka.jp/>より

学校における「働き方改革」の推進！

県下の教育現場において長時間労働が常態化している現状に鑑み、今議会で「学校における働き方改革」について議論が展開されましたので報告いたします。

本年8月中央審議会は、教職員の長時間労働が常態化しており看過できない状況であるとして、業務改善や勤務環境の改善の取り組み推進などを求める緊急提言を公表しました。

また、我が会派は、勤務時間超過について出退勤務時刻が自己申告方式になっている現状を改め、ICカードやタイムカードなど客観的な方法で正確に把握することが、学校における働き方改革の前提条件であるとして、勤務時間を管理するシステムの導入を提案しました。

県教育長は、これらの問題に対して、中教審の緊急提言を重く受け止め、教職員の長時間労働改善に向けた指針を策定し、職場の環境の改善に取り組んでいくと共に、来年度以降、全県立学校で勤務時間を管理するシステムの導入に向けて検討していくと方向性を示しました。また、勤務時間外の電話対応の負担軽減策や、給食費の公会計制度の導入についても、今後策定予定の教職員働き方改革指針に盛り込むことを検討していくとしています。

【教員の長時間労働問題は深刻です！】

小学校教員の3割強、中学校教員の約6割が、厚生労働省が定める「過労死ライン」（月間超過勤務時間80時間以上）に達しています。小中学校、特別支援学校教員では、ここ数年、病気により約8,000人が休職し、このうちうつ病などの精神疾患に伴う休職者が5,000人前後を占めているのが現状であります。職場環境の改善が急務となっています。



(文科省2016年度調査資料)

教員	平日1日当たりの平均勤務時間
小学校	11時間15分
中学校	11時間32分

不登校・中途退学の県立高校生が私立の学習支援センターを広く利用できるようになりました！

学習支援センターとは、一般社団法人福岡県私立学校振興会と福岡県私学協会が共同で運営している学習支援機関で、私学が協同で設置した全国で初めての施設です。

同センターは、いわゆる不登校や中途退学の高校生に対して、学習の場を提供し、学業の継続と在籍校への復帰を支援する事などを目的として、県内4箇所に設置・運営されており、運営費は、県内の私立高校58校がそれぞれ毎年200万円の負担金、及び福岡県から毎年上限1,000万円の補助金によって運営されています。4箇所の学習支援センターには、合わせて毎年150人前後の高校生が通っていますが、ほぼ全員が私立の高校生で、同センターに入所すると、2・3ヶ月の個別指導を受けた後に、ほとんどの生徒が在籍校に復帰したり、通信制高校に転入学しています。これは、私立高校が、同センターへの出席や学習の状況を踏まえ、単位認定や進級・卒業について、適切に措置を行うという協定を結んでおり、生徒が利用しやすい状況となっています。一方で、県立の高校生の通所は、2015年度1人、2016年度2人という状況で、2015年度の県立高校における不登校生が1,126人にも及んでいる現状を考えると、県立高校の生徒の不登校や中途退学をできるだけ防止し、学校生活を継続させるためのセーフティネットとして同センターの役割は極めて重要です。これを踏まえ、我が会派は①県立高校では不登校や中途退学の高校生に対して、同支援センターのように学習の場を提供したり、学業の継続と在籍校への復帰支援をどのように行っているのか。②同支援センターの実績に鑑み、県立学校が個々に対応するのではなく、県教育委員会と同支援センターとの間で包括的な協定を締結し、支援すべきこと等を教育長に質しました。

その結果様々な対応がなされることになりました。今後、各県立高校が同支援センターを積極的に利用すれば、県立高校生の不登校や中途退学も私立並みに著しく減少することが期待されます。

各地区県政報告会のご案内

(今回は、岡田・若江・常松・筑紫駅前通り・永岡・下見一・筑紫・美咲・桜台・諸田・城山の行政区が関係地域です。)

皆様方におかれましては、日頃から福岡県政に対しまして、ご理解とご協力を頂いておりますことに心より感謝を申し上げます。

さて、この度、下記の内容にて「原竹岩海各地区県政報告会」を開催いたします。公私ともご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。



※当日はご意見・陳情も賜りますので、忌憚のないご意見をお寄せください。

日時：平成30年3月18日(日) 午後2時～

開場：筑紫コミュニティーセンター

※筑紫地区以外の方も是非ご参加下さい。お待ちしております！

県民生活相談室 設置いたしました！

子育て(含保育)・教育・年金・各種事業・農林業・労働・人権・住環境・医療介護福祉問題などお気軽にご相談ください。

決して一人で悩まないでください。ともに問題解決の実現のため行動していきましょう。また、引っ越してこられてご相談先がない方もお気軽にお声かけください。

筑紫野市議会議員3期12年、福岡県議会議員4期14年の経験を活かして頑張ります。ご期待ください！

※個人情報と秘密厳守となっておりますのでご安心ください。
◎連絡先は、原竹岩海事務所です。先ず、ご連絡ください。

□新しい駅が出来ます□



天神大牟田線の雑餉隈駅と春日原駅との間に新駅が出来ます。

Profile (報告者 原竹岩海の略歴)

1953年(昭和28年)7月24日筑紫野市曙町に農家の長男として生まれる。
【学歴】 二日市東小学校・二日市中学校、東福岡高等学校、1979年久留米大学商学部卒業
【職歴等】 秘書、筑紫野市議会議員3期12年、福岡県議会議員連続4期当選(現職)
第77代福岡県議会副議長・県監査委員(議会選出)・厚生労働環境委員会委員長・文教委員会副委員長・水資源対策特別委員会委員長・九州国立博物館特別委員会副委員長・予算特別委員会副委員長・決算特別委員会副委員長・議会運営委員会理事・総務企画地域振興委員会委員・少子高齢化社会特別委員会委員・県都市計画審議会委員・県環境審議会委員・県福祉のまちづくり協議会委員・県障害者施設推進協議会委員・県覚せい剤麻薬禍対策協議会委員・県日米親善議員連盟副会長・県観光産業推進議員連盟委員・JA筑紫農事実行組合長

【現在の所属】

福岡県議会議員(4期) 平成15年4月 初当選～
農林水産常任委員会委員、スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会委員、福岡県防衛議員連盟副会長、民進党・県政クラブ県議団幹事長、民進党福岡県連選対委員会委員、民進党福岡第5区総支部副代表、筑紫野市体育協会顧問、日本将棋連盟県支部副会長、全日本拳法連盟「拳志会」顧問、筑紫野市最大の市民団体「産産連」第2代会長

【発行】福岡県議会議員 原竹岩海事務所 (出前県政報告いたします！)

〒818-0061 福岡県筑紫野市紫3-5-1 電話 (092) 918-1323 FAX (092) 918-1321

<http://haratake.jp>

e-MAIL: iwami@haratake.jp